

平成29年度シラバス

教科名	科目名 (単位数)	教科書・副読本	学年
公民	政治・経済 (2単位)	教科書：「政治・経済」 準拠ノート：「政治・経済ワーク」 (ともに東京書籍) 資料集：「最新図説 政経」 (浜島書店)	23年 選択

1. 学習目標

広い視野に立って、民主主義に関する理解を深め、現代における政治・経済、国際関係などについて客観的に理解し、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養う。

2. 年間学習計画

学期	月	章・編	学習内容	学習のねらい	配当		
一 学 期	4月 ～ 7月	第1章 現代の政治				33	
		1節 民主政治の基本原則					
				①民主政治の成立	・民主政治の基本原則 (法の支配・基本的人権の確立・国民主権・権力分立) について理解する。 ・基本的人権が確立するまでの歩みを理解し、現代の政治の特質について考察する。 ・世界の主な政治体制について学び、民主政治のあり方について考察する。	2	
				②法の支配		1	
				③基本的人権の確立		1	
				④現代の民主政治		1	
				⑤世界のおもな政治体制		2	
				2節 日本国憲法の基本原則			
				①日本国憲法の制定と基本原則	・日本国憲法の全体像にふれながら、平和や人権等の問題を考える。	2	
				②基本的人権の保障		4	
				③平和主義		2	
				3節 日本の政治機構			
				①国会と立法	・国会、内閣、裁判所などの政治機構にふれながら、地方自治のしくみを学び、主権者としての政治に対する関心を高める。また、日本国憲法下での政治機構について理解する。	2	
				②内閣と行政		1	
				③裁判所と私法		2	
				④地方自治		1	
				4節 現代政治の特質課題			
				①戦後政治と政党	・選挙制度について学び、参政権の保障が国民主権へのつながりを学習する。 ・マス＝メディアの果たす役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて理解する。	1	
				②選挙と政治意識		1	
				③世論と政治参加		1	
				5節 現代の国際政治			
		①国際政治と国際法	・冷戦終結後の国際社会の動向について理解する。 ・国際連合の役割を理解する。また、現実には国際連合はどのような問題を抱えているのかについて学習する。 ・国際平和と人類の福祉に向けて、日本が果たすべき役割について考える。その際、地球環境・資源エネルギーなどを含めた広い視野から考える。	1			
		②国際社会の組織化と変容		2			
		③国際政治の動向		1			
		④国際政治の課題		2			
		⑤地球環境と資源・エネルギー問題		2			
		⑥地球市民社会における日本の役割		1			
二 学 期	9月 ～ 12月	第2章 現代の経済				30	
		1節 現代の資本主義経済					
				①資本主義体制の成立と発展	・経済の基本的な概念や経済理論を学習し、現代経済の特質について考える。	2	
				②現代経済の特質		1	
				2節 現代経済のしくみ			
				①経済主体と経済の循環	・市場の基本である「需要と供給との関係」について、正しく理解する。 ・経済活動の目的が国民の福祉の向上にあることを理解し、その実現のためには経済成長と景気の安定が必要であることに気づくようにする。 ・財政の基本的なしくみや役割について、また日本の財政の現状を理解し、経済活動のあり方と福祉の向上について考察する。 ・金融機関をはじめ、日本経済が抱える問題について認識する。	1	
				②生産のしくみと企業		1	
				③市場経済の機能と限界		2	
				④国民所得と経済成長		1	
				⑤金融のしくみと機能		2	
				⑥財政のしくみと機能		2	
				3節 日本経済の発展と産業構造の変化			
				①経済再建から高度成長へ	・第二次世界大戦後の日本経済復興期の諸改革や高度経済成長にいたる経緯と背景について理解する。また、オイル・ショック後の日本経済の変容と産業構造の変化について理解し、バブル経済とその崩壊について考察する。	1	
				②オイル・ショック後の日本経済		1	
				③日本経済の現状		1	
				4節 福祉社会と日本経済の課題			
				①公害と環境保全	・公害の原因と対策について理解し、循環型社会形成に向けての課題について考える。 ・消費者保護のための法律や制度、課題を理解する。 ・農業の現状を理解し、今後の農業のあり方について考える。 ・日本における中小企業の位置づけを認識し、大企業との格差等の課題について考える。 ・労働問題の歴史、労働三権の内容を理解し、現在の雇用問題について考える。 ・社会保障の意義やしくみ、少子高齢社会における日本の課題を考える。	1	
				②消費者問題		1	
				③農業・食料問題		1	
				④中小企業の現状と課題		1	
				⑤雇用と労働問題		2	
		⑥社会保障と福祉	2				
		5節 国民経済と国際経済					
		①貿易と国際収支	・貿易、為替のしくみ、国際収支の基本的な構成を理解させ、経済摩擦の要因である不均衡が生じる原因について学習する。 ・国際協調に向けて、どのような国際機関が存在するか把握し、貿易の自由化と地域的経済統合の動きなどについて学習する。	2			
		②経済対立と国際協調		2			
		③発展途上国の経済		1			
		④地域主義の動き		1			
		⑤グローバル化する世界経済		1			
三 学 期	1月 ～ 2月	第3編 現代社会の諸課題				7	
		1節 日本社会委の諸課題					
				①少子高齢社会における社会保障	・現代の日本が抱える課題 (①～⑨の中から選択) を、政治と経済との関連に留意しながら、さまざまな角度 (視点) から考察し、望ましい解決のあり方を考える。	4	
				②地域社会の活性化			
				③若者の労働環境			
				④中小企業の活路			
				⑤日本の食と農			
				2節 国際社会の諸課題			
				①地球環境とエネルギー	・国際社会における課題 (①～⑥の中から選択) を、国際的な視点から追究しながら、日本の役割について考察する。	3	
				②経済援助と貧困			
		③パレスチナ問題					
		④地球市民社会と日本					

3. 学習方法

○ 授業は、教科書・資料集・先生方が準備するワークシートを中心に進めます。 ○ 日頃から新聞等に親しみ、社会で起きている諸問題について関心を高めるしょう。

4. 評価の方法及び評価資料

○ 日々の授業態度やワークシート、「政治・経済ノート」、宿題等の取り組み状況 ○ 中間・期末等の定期考査や実力テスト等
○ 夏休みや冬休み等の長期休業中の課題 ○ 課題追究学習におけるレポートや発表 これらをもとに総合的に判断し、評価を進めていきます。